

# 加賀太きゅうりの新たな作型導入に向けた取組み

県央農林総合事務所



生産部会における出荷目合わせの様子



新たな栽培作型の現地検討会

加賀野菜の一つ「加賀太きゅうり」の生産部会である「JA金沢市加賀太きゅうり部会」は、昭和40年代の栽培開始以来、形や色、収量性が優れる優良系統の選抜や環境に配慮したエコ農業の導入、大手飲料メーカーとの共同企画による販売促進活動の強化等、ブランド力を高めるために様々な取り組みを行い、販売価格の維持に努めてきました。

しかし、近年、5月中～下旬に出荷が集中し、販売価格が下がっていることから、今年は、現状から定植時期を約2週間遅らせる新しい栽培作型により、出荷時期を6月以降まで分散させることにしました。また、売れ筋であるM～Lクラスの大きいサイズを中心に出荷することにしました。

しかしながら、このような新たな栽培作型の導入は、ブランド産地である本部会では初めてであり、出荷サイズの変更も約10年ぶりであったことから、当事務所では、部会・JA・金沢市と連携して、新しい作型に対応した栽培指針の改定、保温管理やかん水・施肥のタイミングを指導する現地検討会の開催をとおして、栽培技術の普及・定着を図りました。

また、生産部会自身も、これを機に地元だけでなく関西地区の量販店へも積極的に販売促進活動に出向き、店頭で直接消費者に加賀太きゅうりをPRするとともに、テレビ、ラジオ、新聞等各メディアにも積極的に出演するなど、全国に向けてPR活動を展開しました。

その結果、販売価格は昨年に比べて1割程度上昇し、生産部会では継続してこの栽培方法に取り組むこととなりました。当事務所では今後も部会活動を支援し、産地強化に取り組んでいきたいと考えています。

問い合わせ先：農業振興部（076-204-2101）